



建物が平面上多角形であり、縦断面でも2階床部分が出っ張っており、屋上に向かってますますぼんで行くという変形であるため、墨出し、型枠の製作と建て込みに熟慮を要した。ある朝現場に行ってみると、強風で前の日に建て込んだ型枠が吹き飛ばされ、唾然としたこともあった。型枠を斜めに建て込まなければならぬ難しさを痛感した。

仕上げについても90度に材料を切断できるところはほとんどなく、作業能率はすこぶる悪く困ったがいかにキッチンと仕上げ材を張るか、職人たちは必死であった。

建物が出来上がって外構工事を行い、植栽が入ったときにこれまでの苦勞が吹き飛び感激を味わうことができた。(施工者コメント(有)大原工務所 大原彰)

